

寒河江地区

ふくし

令和5年12月5日

第12号

発行

寒河江地区社会福祉協議会

少子高齢化社会の対応について



寒河江地区
社会福祉協議会
会長 眞木 恒雄

平素から、皆様には寒河江地区社会福祉協議会の事業運営について、温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市民誰もが住み慣れた地域で安全安心な生活を送っていくためには、市や市社会福祉協議会をはじめ、地域福祉の担い手である民生委員児童委員、地域福祉推進員、町会長、福祉関係団体、ボランティアの方々との連携・協働を進め、課題を解決できる地域づくりを推進していくことが必要であると思っています。

令和5年度においても、市社会福祉協議会の重点事業として掲げている「地域見守りネットワーク事業」に協力するとともに、9つの重点事業の継続と充実・強化を図り、地域福祉の推進に取り組んでまいります。

今後とも皆様と共に地域社会福祉活動に努めてまいりますので、ご支援、ご協力を宜しく御願い申し上げます。

令和5年度事業について

近年の少子高齢化や核家族化の進展により、1人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯及び空き家等が急速に増えてきています。これにより地域や家庭のつながりの希薄化が進むなど社会環境は大きく変化し様々な課題が生じています。

このような中、本会においては、地域の福祉力の維持・強化を図るべく、これまで役員・委員の研修を実施するとともに、福祉施設の慰問や、各地区で開催されている敬老会を支援しています。そして会報「寒河江地区ふくし」を発行し、啓発活動を推進してきています。



第六・第七わんぱくクラブに慰問金を贈呈

令和5年度においても、事業の継続と充実・強化を図りながら、次の事業を重点に地域福祉の推進に取り組んでまいります。



さくらんぼ共生園に慰問金を贈呈

重点事業

- ① 総会、役員会及び委員研修会の開催
- ② 組織の再編、小学校学区単位での分割を検討、調整
- ③ 地域見守りネットワーク事業への協力推進
- ④ 福祉施設への慰問、慰問金の贈呈
- ⑤ 敬老会事業への支援、助成
- ⑥ 会報「寒河江地区ふくし」の発行
- ⑦ 市社会福祉協議会及び関係各機関との連携、強化
- ⑧ 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい運動の推進
- ⑨ その他、社会福祉に関する事業

寒河江市学童保育第六わんぱくクラブ

主任支援員 長岡 五月

令和5年4月、寒河江市学童保育第六・第七わんぱくクラブが開所しました。寒河江中部小学区の放課後児童クラブであるわんぱくクラブは、平成4年4月に開設してから32年目となりました。入所児童の増加に伴い、寒河江市のご協力を頂きながら増設し、現在では260名の子どもたちが在籍し県内唯一の一小学校区で七つのクラブ運営に至るまでに増大しました。今年、小学校から徒歩

3分という恵まれた場所に第六・第七わんぱくクラブという安全な専用施設を二階建てで新設して下さり、これまでも多くのご支援とご指導を賜った寒河江市には、心から感謝申し上げます。

第六・第七わんぱくクラブは、小学校のすぐ近くなので、窓からは校舎が見え学校生活の賑やかな声も聞こえてきます。4月8日に開所式を行い、児童代表のことばにもあったように、日当たりが良く、IHクッキングヒーター・LED照明・天井

埋め込み式のエアコンなど安全で便利な機器がついていて、木の温かみを感じるとても過ごしやすく快適な施設です。また、近くには学校グラウンドや、八幡原第一号公園と第二号公園もあり、天気の良い日にはのびのびと外遊びも楽しめる恵まれた保育環境で、たいへんありがたく感じております。

このような環境の中で、子ども達が生き生きとした放課後の生活を送り、成長を見守っていただけるよう、今後とも家庭・学校・地域との連携を大切にし、心身の成長を伝えあいながら心を込めて支援していきたいと思っております。



敬老会補助金 助成先 (申請町会名)

- 六供町公民館
- 舟橋公民館
- 中央地区
- 元町区
- 中内楯町会
- 若葉町会
- 石持町公民館
- 八幡町町会
- 27町会
- 山岸南町会
- 栄町公民館
- 新宿町会
- 20町会
- 35町会
- 丑町2町会
- 新山町会
- 東新山町会
- みずき町会
- 桜小路町会
- 丑町1町会
- 本楯4町会
- 日の出町町会
- 長岡町会
- 矢ノ目町会
- 陵南町町会
- 34町会
- 新町1町会
- 上町町会
- ほなみ町会
- 七日町町会
- 美原町公民館
- 駅前1町会
- 末広公民館
- 緑町1町会
- 高田新町町会
- 横町町会
- 南町町会
- 緑町2町会
- 越井坂2町会
- 西の町町会
- 緑町3町会

10月末日現在

舟橋地区敬老祝賀会

舟橋公民館 副館長 庄司 進

第26回舟橋地区敬老祝賀会は、10月15日(日)4年ぶりの通常開催として、ホテルシンフォニーアネックスで盛大に開催されました。

舟橋地区の敬老会は、舟橋公民館(舟橋東・舟橋中・舟橋南・舟橋西・舟橋2町会で構成)が主催します。今年の敬老者243名、最高年齢99歳で、90歳以上の方は42名、米寿対象者10名となっております。出席者73名を得て楽しい時間を過ごしました。

開会の挨拶に始まり、會田茂公民館長挨拶、来賓祝辞(代読)、米寿者に賀詞、記念品の贈呈、引き続き、祝賀、祝宴、そしてアトラクションに入りました。

お楽しみのアトラクションは、日本舞踊、さくら会による花笠音頭等、続いてじゃんけん大会。出席者と公民館役員等と4回行いました。会場は一気に盛り上がり、優勝者4名には豪華賞品を進呈、敬老者のパワーは凄いものがありました。柔和な目、素敵な笑顔が印象的でした。



會田公民館長 挨拶



じゃんけん大会



さくら会 花笠音頭

飲食し、おしゃべりしながら楽しい時間を過ごし、あっという間に時間が経過し、最後に全員で「ふるさと」を合唱し、来年もまた元気で会えることを約束しお開きとなりました。

戦中戦後を力強く生きてこられた皆様には、健康に留意され、ますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げますとともに、地域全体の絆がより一層深まることを願っています。

東新山地区自主防災会

自主防災会長 瀬野 義昭

東新山町会は、平成10年に設立し、約360世帯が生活している町会です。自主防災組織は、東日本大震災の平成23年に「自分たちの町は自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて結成されました。

各種防災訓練に参加し、防災力向上を図る防災訓練と女性くらぶによる炊き出し訓練を実施してきたところで、令和2年から3年間は、コロナウイルス感染症防止のため一堂に会しての防災訓練は中止となりました。

コロナ禍の中でもやれる方法はないかを考え、これまで中止したことのない運動会の中で、水消火器による初期消火訓練を競技の中に組み込み、「火消しリレー」を行いました。子ども達に好評で、ピンポンパンのリズムで操作し、火的を倒していくマスク姿の子ども達が頼もしく感じられました。



もう一つは、非常災害時等の緊急連絡網の作成と緊急連絡訓練です。会長から隣組長までの連絡網と各隣組内の連絡網を作成しました。

初年度は、隣組内の電話連絡が繋がらないことがありました。次年度は、隣組

度には連絡先を固定電話と携帯電話の二つにする等の改善を加え、全戸への連絡を一時間以内完了することが出来ました。今年度は、コロナが5類に移行されたこともあり、防災訓練と女性くらぶ炊き出し訓練を実施しました。

3年間のブランクは大きく、役員の顔触れが入れ替わり、防災訓練の進め方や女性くらぶ会員の減少があり再開に苦労することがありましたが、話し合いによる纏まりも生まれました。

消防本部の協力により、講話「煙と水害について」、「煙体験訓練」、「応急処置訓練」が順調に行われました。



参加者の顔には、災害に立ち向かう新たな共助を感じさせる笑顔がありました。今後、当町会も高齢化が進み、高齢者夫婦や一人暮らし世帯が増えてきます。これからも安心安全に暮らせる町会を目指し、自主防災活動を充実していきたいと考えています。

地区社協では、例年各施設を慰問し、慰問金を贈呈しており、本年度も教材や備品購入等の一部として次の各施設に慰問金を贈呈しました。施設を利用されている方たちには、明るく楽しく活動していただきたいと思ひます。

- 第一わんぱくクラブ
- 第二わんぱくクラブ
- 第三わんぱくクラブ
- 第四わんぱくクラブ
- 第五わんぱくクラブ
- 第六わんぱくクラブ
- 第七わんぱくクラブ
- きらきらクラブ1
- きらきらクラブ2
- らっふる
- さくらんぼ共生園

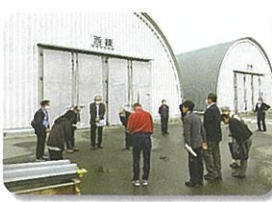


委員研修会を開催

令和5年10月10日
4年ぶりに視察研修を実施しました

委員研修会は、新型コロナウイルスの影響により、令和2年から令和4年までの3年間は、市内の会場で認知症の疑似体験研修を中心に座学で研修会を開催してまいりました。本年度の委員研修会は、感染対策の緩和を受け、令和元年まで行っていた視察研修を4年ぶりに復活して開催いたしました。

視察先は、川西町の施設を視察、見学して研修を行いました。初めに、障害者支援施設山形県社会福祉事業団「希望が丘」を訪問し、深瀬所長様に施設の概要などの講話を頂戴して視察を行いました。特に、利用者や職員の高齢化などの課題や、光熱費や食材の高騰による運営圧迫の状況、診療所の運営の状況、施設の老朽化の状況など、日常に加え様々な課題に取り組んでいる旨の説明を頂きました。



雪冷房システム視察



川西ダリア園豪雨被災視察



「希望が丘」視察

障害者支援に取り組み職員の皆様や医師・看護師・栄養士の皆様のご労苦を伺い知ることができました。次に、文化施設フレンドリープラザの「雪冷房システム」を、川西町

様に講話を頂き、現地を視察いたしました。最後に樽平酒造さんに立ち寄り、日本に誇る伝統的な酒造りの取組みを見学いたしました。4年ぶりの視察研修でしたが、川西町のご協力もあり充実した視察研修を行うことができました。今後、委員の資質向上による地域福祉の推進に資するため視察研修を企画し実施して参ります。

(総務 千石 等一)

市社協の窓

寒河江市社会福祉協議会 介護福祉課長

小野田 雨香

今回は、市社協の介護事業についてご紹介いたします。

市社協で実施している介護事業は①居宅介護支援事業、②訪問介護事業、③訪問入浴介護事業の3つです。

① 居宅介護支援事業

ご自宅で安心して生活を続けられるよう、ケアマネージャー（介護支援専門員）がケアプラン（居宅サービス計画）を作成します。

② 訪問介護事業

ケアプランに基づき、ホームヘルパーがご自宅に訪問し、身体介護（清拭、入浴介助、排泄介助、通院・外出介助、服薬介助等）や生活援助（掃除、洗濯、ベッドメイク、衣類の整理、調理、買い物等）を行います。約30名のホームヘルパーが日々活動しています。

③ 訪問入浴介護事業

ご自宅のベッドの側に浴槽を運んで設



置し、入浴していただきます。始めに看護師が血圧、体温、脈拍等を測定し、利用者の状態に合わせた入浴をしますので、安心してご利用いただけます。

各事業の実施地域は寒河江市のみならず、近隣市町に及びます。

また、日帰りの介護予防活動として、介護予防生きがい活動支援事業「いき活サン」を実施しています。週1回、介護予防体操やレクリエーション活動、参加者同士のふれあい交流などに参加し、足腰の衰えや認知機能低下の予防を図っています。



市社協では、介護予防をはじめ、介護が必要になっても住み慣れた地域でいつまでも安心して生活することができるようなサービスを提供しています。

どの事業も、関係機関と連携を図りながら実施していますので、「施設に入所せずに、できるだけ自宅暮らしたい」等、ご自宅での介護サービスをご希望される場合には、市社協にご相談ください。



令和5年度寒河江地区社会福祉協議会 役員名簿

● 会長	長岡 真木 恒雄	(中部地区町会長連合会)	● 理事	橋本 保	(東部地区町会長連合会)
● 副会長	安孫子 誠	(民生委員児童委員)	● 理事	佐藤 玲子	(民生委員児童委員)
● 副総務	瀬野 義昭	(東部地区町会長連合会)	● 理事	那須 吉雄	(民生委員児童委員)
● 総務	千石 等	(東部地区町会長連合会)	● 理事	太田美津子	(民生委員児童委員)
● 理事	白田 昭	(民生委員児童委員)	● 理事	小畑 薫	(民生委員児童委員)
● 理事	神保 光昭	(中部地区町会長連合会)	● 監事	鈴木 雅彦	(中部地区町会長連合会)
● 理事	奈良崎 一雄	(中部地区町会長連合会)	● 監事	石澤 春夫	(東部地区町会長連合会)
● 理事	岡 悟司	(東部地区町会長連合会)			

編集後記

◆ 今年で4年目となる新型コロナウイルス、5類移行に伴い経済活動が戻り、旅行・飲酒を伴う会合も増えていきます。しかしながら、感染数は人々の接触頻度の増加に伴い増えているのが現実のようです。

◆ 今しばらく、基本的な感染対策をしっかりとやるのが大切です。

◆ 今年は、大雨・大型台風・猛暑日が続く、地球温暖化現象と結びつく災害が続きました。

○ 編集委員長

瀬野 義昭

○ 編集委員

全役員

